

第3回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録（案）

場所 栃木県総合文化センター 第2会議室

日時 2012年1月19日 13時～14時

配付資料 大腸癌研究会プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」第3回資料

参加者 固武，松井，小澤（栃がん），佐藤（藤田保健），古畑（札幌医），
衣笠，石橋（久留米），亀岡，廣澤（女子医），八岡，横山（埼玉がん），
大植，能浦（大阪成人病），飯合（新潟），長谷，深澤，島崎（防衛），
金光（愛知がん），渡邊，石原（帝京），風間（東大），小山（弘前），
矢野，合田，須田（国際医セ），坂井，長谷川（京大），小林（医科歯科）
順不同敬称略

議題1 第2回会議議事録案が承認された。

- ① 膜播種に関する retrospective study について
- ② 腹膜播種の prospective study について
- ③ 細胞診の retrospective study について
- ④ 腹腔洗浄細胞診に関する systematic review について

議題2 腹膜播種の prospective study（観察研究）について

- ・適格基準について
年齢は20歳以上で上限は設けない。PSは制限しない。
術前補助療法の有無は規定せず、術前治療情報として記載する。
手術の種類は開腹、腹腔鏡を問わず、腹腔鏡から開腹への移行についても規定しない。
- ・播種巣の組織学的確認について
腹膜播種の少なくとも1病巣を組織学的に確認する。すべての播種巣を組織学的に確認する必要はないものとする。
- ・大網の播種播種巣、卵巣転移の記載法
大網転移はPCIの記載ルールを確認してプロトコールに反映する（事務局）。
卵巣転移はPCIの領域とは別に記載する。

議題3 腹水洗浄細胞診の prospective study について

- ・今回は討論せず。

議題4 細胞診の retrospective study（症例集積研究）の集計解析結果について

- ・以下の4施設から解析結果が報告された

東京医科歯科大（小林宏寿）

大阪成人病センター（能浦先生）

東京女子医大（廣澤先生）

栃木県立がんセンター（小澤先生）

- ・集積データの今後の活用方法について

1) 本データの解析結果はそれぞれの施設名で学会・論文として発表できる。ただし、発表内容の重複や論旨の齟齬を避けるための調整を事務局が行う。かならず発表前に抄録あるいは投稿原稿を事務局宛に提出する。

2) 発表の際は、本プロジェクト研究のデータであることを明記する。著者は本プロジェクト参加者の連名を原則とするが、連名に人数制限がある場合などの個別の問題に対しては事務局と相談しながら適切に対応する。

- ・上記が全会一致で承認された

（文責：小林宏寿）